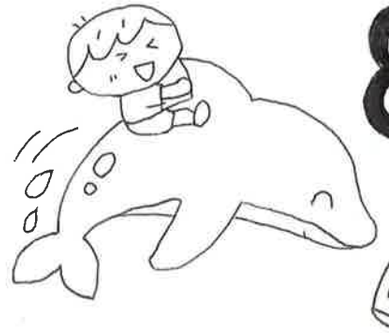

8月 しいの実 たんぽぽ みず クラスだより

2025.8.29
円町まぶね隣保園

まだまだ暑い日が続いていますが、もう8月が終わろうとしています。7月から始まったプールあそびでは、初めは慣れず、ドキドキしていた子どもたちも、くり返しの経験でどんどんダイナミックに楽しめるようになりました。
9月からも残暑は続きますが、体調に気をつけて過ごしていきたいと思います。

しいの実

新しい友だちが1人増え、8人になったしいの実組です。新しく入園した友だちに初めから関心を寄せて顔をのぞき込んで、涙する姿があると頭をなでなでとなでる在園の子どもたち。少しずつ友だちに興味が出てきているんだなぁ、と感心する一面でした。7月に引き続き、プールや水あそびをして暑い夏を乗り切りました。どんどん水に慣れて、水の中でハイハイでたくさん移動したり、シャワーの水が顔にかかっても笑顔で遊ぶ姿があります。プールでは心も身体も開放的になり楽しめました。

ともだち だいすき

しいの実組では、友だちとの関わりが少しずつ増えています。月齢差があると、歩く・つたい歩き・ハイハイ・ずりばい等動き方も全然違う子どもたちですが、長く保育園で一緒に過ごす友だちを覚え、安心して関わっている様子があります。7月～8月は保育室に新しく押し車の玩具が増えました。まだ、つたい歩きをしている子どもが押し車を押してよちよちとうれしそうに歩いています。歩行が安定している子どもにも大人気の押し車。最近では、友だちが押し車に座っている所をもう一人が押して動かすことがブームです。

子どもが座っていると保育者でも、なかなか力がいるのですが、しっかりと足でふんばり、友だちを運び合っています。「すごいねー」と保育者が伝えると自分で"パチ パチ パチ～"と拍手をして満足そうです。また、運んでもらっている子どもも にこにことうれしそうで見ていてほっこりしています。高月齢の子どもは あそびの中での関わりが増えてきていますが、低月齢の友だちとの関わりもあり、顔を見合わせて にこっと笑顔を見せたり、玩具を渡してあげたり優しい姿があります。これからも、どんな関わりが出てくるのか楽しみです。

わくわく ドキドキ

子どもたちは、「いない いない ばぁ」や くすぐりあそび、まてまてあそびなどが大好きです。くすぐりっこあそびも「いない いない ばぁ」あそびも「もうすぐくすぐられるぞ」「もうすぐ先生がばぁ!っと出てくるぞ」とわくわく ドキドキ しながら期待して待つ楽しさがあります。くり返せばくり返すほど期待は高まっていきその内に子どもの方から「もう いっかい!」とばかりに期待して振り返るようになっていきます。また、子どもたちはカーテンや扉の向こう側など見えそうで見えない世界が大好きです。カーテンの後ろに入ってあそぶ姿がタくぺらっとめくると にこ～っと笑顔を見せています。これからもわくわくする空間やあそびを一緒に楽しんでいきたいと思っています。

しいの実組の子どもたちでブームの手あそび♪
「だんご だんご くっついた」
「とんがり山のてんぐさん」

たんぽぽぐみ

8月も終わろうとしていますが、まだまだ暑い日が続きそうです。暑さのため、外で遊ぶことが制限され、室内であそぶことが多かった今月でした。室内でも体を動かしていけるように、すべり台などの遊具を出しながらゆっくり過ごしています。おもちゃであそんでいる時に、友だちのものが欲しいと パッと取っていってしまうことがあります。日常の中でそういうことはたくさんありますが、「かして」と言うことや仕草で伝えたり、保育者が代弁することもあります。すると少しずつではありますが、「かして」と言ったり、仕草で伝えようとする姿が出てきたように感じています。「ありがとう」も「あーとう」や頭を下げたり、お互い「ありがとう」と言っていたりするので、面白いなと思いながら日々見守っています。また、友だちと何かをするのが楽しくなってきたのか、一緒のおもちゃを持って笑い合う姿や「リズム」をすると、友だちの手を繋ぎにいこうとする姿があります。保育者が「一緒にあそんでるんやなあ」と声かけると、「いっしょ!」と言っています。友だちのことが大好きな子どもたち、これからもみんなで一緒に色々なことを楽しみたいなと思います。

〈てあらい ピカピカ〉

8月中頃から手洗いを始めました。1つ1つゆっくり伝えながら泡せっけんを出すところから洗うところまで、子どもたちが自分でやっています。中には何度も泡石けんを出そうとポンプを押す子どももいるので、「1回だけだよ」と声をかけられながらしています。自分でやりたい思いも増えてきた子どもたちなので、自分で手をきれいにしながら、自分で出来た思いも受けとめていきたいと思います。

〈プール・感触あそび〉

8月でプールあそびは終わりますが、暑い日が続く間は水あそびも引き続きしていきたいと思います。水にも大分慣れ、今では笑顔であそぶことも多いです。しいの実ぐみと入ることが多かったので、水をかけあいながらゆっくりつかることが出来ました。しいの実との関わりも自然と出てきて、名前を呼んだり、おもちゃを渡したりしていました。

感触あそびは寒天や白玉粉をしました。不思議な感触に苦手な子どももいましたが、「これはなんだろう?」と心を動かしたり少しずつ触れていき、面白いと感じていました。特に白玉粉は水を入れると粉から固まりになるので、粘土のように様々な形にしてあそびました。

みずぐみ

天気の良い日が多くプールに沢山入った8月。「今日はプールだよ」と伝えると「やったあ」と急いで片付けをする子どもたちです。大人もそうですが先に楽しみなことがあると見通しを持つことができて自然と身体が動くようです。「わにが～ およぐ～ ♪」と歌いながらスイスイとワニ泳ぎをし、保育者が足を広げてトンネルを作るとニコニコで集まり潜り抜けることが日課となっていました。ダイナミックに水しぶきをあげて水のかけ合いをしたりプールの中でジャンプしたりと全身を使って楽しむことができました。

＼お気に入りのえほん／

言葉の爆発期ともいわれる2歳児。まさに日頃、大人のような口調で話しているのを耳にするとドキッとしてしまうことも…。絵本や日常会話など様々なところから吸収しているのだと感じます。絵本の読み聞かせをすると集中して見る姿やリズミカルな言葉にハマって歌うように口ずさんでいたりします。最近では「なっとうさんがね…」の絵本が好きな子どもが多く ねばねば♪ぎゅっぎゅっ♪、「しんぱいごむよう!」というセリフを言うことを楽しみながら読んでいます。絵本は言葉だけでなく"次のページではどんなことが起こるのだろう?""どんな気持ちなのかな"など想像力も豊かになっていきます。さらにお家での読み聞かせは特別で、膝の上にのって、布団に寝ころんでなど子どもにとってお家の人と一緒に過ごす時間は心を満たしてくれます。

ほっこりエピソード

夏になってから食欲が落ちたり、好き嫌いがはっきりとしてきた姿がありました。ある日の給食中…苦手なのかなという食材をよけていた子どもがいました。小さくして「一口だけ食べてみよう」というと「んん～!!」と頑なに拒否でした。隣で見ていた友だちに「見ていてね」と声をかけるとなんと一瞬で口を開けて食べることができました。そのとたん、一緒に座っていた友だち皆がパチパチと手をたたき始めその後は自分で口元へ運び完食することができました。その後、今度は拍手していた子どもが「これいやや…」と伝えます。保育者が声を掛けようとすると「みてるな!」と言ったのはさっき完食できた友だちでした。お互いに励まし合い、食べることができた2人は誇らしげに顔を見合わせていました。子どもたちの温かい空気にほっこりとした瞬間でした。笑顔になってみんなで食べる食事の時間。単なる味覚だけでなく感情の共有をしあったりコミュニケーションをとりながら食べることでより満足感が得られます。みんなで食べる空間を大事にして食べることを楽しんでいきたいと思います。